

心とからだいきいきキャンペーン



3年間の取組概要

鳥取県教育委員会

推進会議の開催状況

- H17. 7 キャンペーン 開始
- H18. 5 第1回推進会議（加入団体 75団体）
- H19. 3 第2回推進会議（ // 109団体）
- H19. 7 第3回推進会議（ // 112団体）
- H20. 2 第4回推進会議（ // 113団体）



キャンペーン広報について

- チラシ、ポスター、ステッカー
(キャンペーンロゴの活用)
- 学校給食用牛乳パック
- 広告塔
- ホームページの開設
- 広報誌「夢ひろば！」
- 県政だより
- 新聞広告
- 出前説明



チラシ(裏)

基礎学力調査との関連

大切です！ 生活リズムや社会のルール・マナー

～「心とからだ いきいき（食・読・遊・寝）キャンペーン」の意義～

現
状

- 近年、子どもたちの実体験不足や基本的な生活習慣の未定着、活字離れ等が指摘されています。
- 県内の児童生徒について、基礎学力調査・特別体力テストを実施した結果、生活習慣と学力・体力との間には強い相関関係のあることが明らかになってきました。（グラフ参照）
- 本来家庭や地域が果たすべき機能が、学校任せになる傾向にあります。

県

- ・心とからだ いきいきキャンペーン
- ・高校生 マナーアップ さわやか運動
- ・家庭教育推進協力企業制度 など

家庭・地域の大人が
「子どもたちと
しっかりと向き合う」
ことが大切

市町村、PTA、NPOなど各種団体

- ・ノーテレビデー
- ・あいさつ運動 など

効果

家庭・地域・学校が、
それぞれの役割を果たす

家庭（保護者）

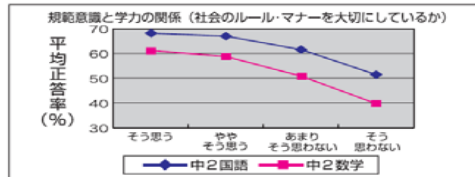
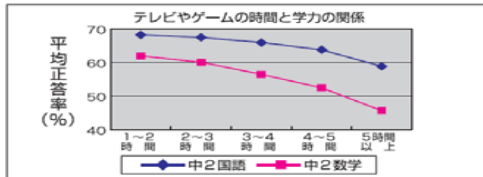
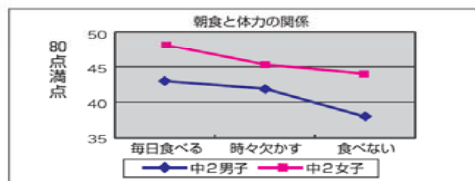
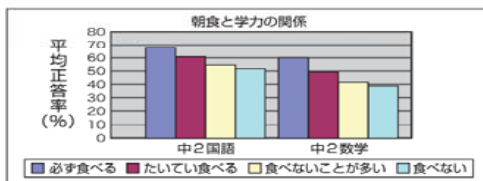
- ① 家庭の果たす役割を再認識する機会となります。
- ② 子どもの生活習慣・生活リズムが定着して、子どもの本来持っている力が高まります。
- ③ 思いやりの心やルール・マナーを守る気持ちなど、豊かな心を育みます。
- ④ 親子のふれあいが多くなり、家族の絆が強まります。

地域

- ① 地域の大人が地域の果たす役割を再認識します。
- ② 子どもたちが、自分たちの地域に愛着を持ち、地域を知ることにつながります。

学校（教員）

- ① 保護者と学校（教員）の連携や信頼関係が高まります。
- ② 子どもたちがいきいきと学び、育ちます。
- ③ 家庭でしつけや基本的な生活習慣の定着がなされれば、教員は学習指導等に専念できます。



※ 平成18年度基礎学力調査より（「朝食と体力の関係」は平成15年度特別体力テストより）

問合せ先：鳥取県教育委員会事務局 教育総務課教育企画室（電話 0857-26-7506、7926）
 キャンペーンのホームページには、生活習慣と学力等に関する様々なデータ、生活習慣を定着させるための家庭や地域での取組などを掲載しています。http://www.pref.tottori.jp/kyuiku/ikiikikyanpen/index.htm

学校給食用牛乳パック

キャンペーンロゴを掲載(H18.6~H19.4)



広告塔

H18.4~H18.6 県庁、鳥取・倉吉・米子駅前

H19.5~H19.7 県庁前



キャンペーン ホームページ

心とからだ いきいきキャンペーン/とりネット/鳥取県公式サイト

1/3 ページ



▶ お問い合わせ ▶ 使い方 ▶ サイトマップ

キーワード

検索



現在の位置: [ホーム](#) → [県の組織と仕事](#) → [教育委員会](#) → [心とからだ いきいきキャンペーン](#)

教育委員会

[教育委員会トップページへ](#)

[教育長あいさつ](#)

[教育委員会制度](#)

[教育委員と教育委員会議](#)

[鳥取県教育審議会](#)

[教育だより「とっとり夢ひろば！」](#)

[県内学校一覧・職員名簿](#)

[リンク集](#)

教育改革

[21世紀鳥取県教育ビジョン](#)

[教育委員会のミッション](#)

[ととりの教育](#)

[心とからだ いきいきキャンペーン](#)

[家庭教育推進協力企業制度](#)

[教育委員会](#)

心とからだ いきいきキャンペーン

[もどる](#) | [朝食と学力・体力の関係](#) | [テレビ視聴時間と学力・体力の関係](#) | [睡眠時間と学力の関係](#) | [読書等と学力・体力の関係](#) | [推進会議の概要](#) | [加入団体一覧](#) | [推進会議加入のお話し](#) | [支援隊の紹介](#) | [支援隊の募集](#) | [強弱月間<6月>の取組](#) | [我が家のイチ押し実践](#) | [優れた草の根実践](#) | [テレビCM](#) | [協賛企業・団体の活動内容](#) | [「広げよう!草の根実践」取組発表会 兼 第4回推進会議](#)

今、社会を取り巻く環境が大きく変化してきており、子どもたちの周りに目を向けると、実体験の不足や基本的な生活習慣の未定着、活字離れ等、さまざまな問題が見えてきます。

そのような中で、県教育委員会が県内の児童生徒を対象に各種調査を実施した結果、生活習慣と学力・体力との間には強い相関関係のあることが明らかになってきています。

そこで、下の6つを大きな柱に「心とからだ いきいき(食・読・遊・寝)キャンペーン」を実施し、学校・家庭・地域と連携を図りながら、子どもたちの健全育成のためにさまざまな取り組みを行っています。

- 1) しっかり朝食を食べよう
- 2) じっくり本を読もう
- 3) 外で元気に遊ぼう
- 4) たっぶり寝よう
- 5) 長時間テレビを見るのはやめよう
- 6) 服装を整えよう

広報誌「夢ひろば！」(31号より)

家庭・地域が一体となって、規則正しい生活習慣・生活リズムづくり

家庭・地域で大人が子どもたちとしっかり向き合い、その中でたくましい生き方や人間性を育みます。

心から楽しむ
食・読・遊・寝
キャンペーン

6月はキャンペーン 強調月間

- ① しっかり朝食を食べよう
- ② じっくり本を読もう
- ③ 外で元気に遊ぼう
- ④ たっぷり寝よう
- ⑤ 長時間テレビを見るのはやめよう
- ⑥ 服装を整えよう

各種調査の結果、子どもたちの生活習慣・規範意識と学力・体力との間には強い相関関係のあることが明らかになってきました。そこで、上記6つの呼びかけを大きな柱に、「心から楽しいき(食・読・遊・寝)キャンペーン」を展開しています。

PTAや社会教育団体などで構成する「キャンペーン推進会議」を設置し、県民運動へつなげるさまざまな取り組みを行っています。子どもたちの生活習慣、ルール・マナーについて一緒に考えてみませんか？

育ちと学びをつなぐ 幼保小連携の推進

幼保小連携推進協議会の設置

年3回開催予定(6月、9月、1月)
※幼稚園・保育所(園)・小学校・市町村の代表者によって、幼保小連携の課題解決や体制づくりに向けた意見交換と協議を行います。

育ちと学びをつなぐ幼保小 連携フォーラム

平成18年11月12日(日)午後
県民ふれあい会館
※県内外先進地区の実践発表、シンポジウム、専門的有識者による講演を予定しています。

幼児教育から小学校教育への 一貫した教育の推進

鳥取県家庭教育推進 協力企業制度の推進

企業・従業員をあげて家庭教育の充実に
向けた職場環境づくりのため、自主的に取り組む企業と県教育委員会が協定を結び、協力しながら鳥取県の家庭教育を推進します。



家庭教育支援に関する企業の取り組み

項目	取組概要
① 学校へ行ってみよう	参観日や保護者会、学校行事などへの参加の働きかけや、休暇が取りやすい職場環境づくりに向けた取り組み (例:参観日休暇制度の創設など)
② 仕事を語ろう、仕事を見せよう	仕事についての親子の対話などを促す職場環境づくりに向けた取り組み (例:子どもが保護者の働いている職場を参観する「子ども参観日」の実施など)
③ 子どもと遊ぼう	自然体験活動や地域活動などの親子や家族での体験活動を促す職場環境づくりに向けた取り組み (例:親子で体験活動ができる職場行事の実施など) →「親子クッキング」 (鳥取子ども教室 日備谷こどもクラブ 親子料理教室)
④ 我が社の子育て環境づくり	上記①～③に準じた「子育て支援に向けた職場環境づくり」に向けた各種の取り組み (例:家庭教育講座の開催、家庭教育相談の実施など)

(※上記のうち2つ以上取り組みとうする企業と協定を締結)



井原石材店、(学)米子自動車学校、東京印刷(株)、
中国電力(株)鳥取支店、中国電力(株)鳥取営業所

県政だより

- ◆ 平成18年8月号
- ◆ 特集 4ページ

心もからだもいきいきキャンペーン

県教育委員会 教育課

今、子どもたちの周りでは、身体性の不足や過剰な生活習慣の定着、食生活などの問題が指摘されています。そのよから、県教育委員会が行った食生活改善の取組から、子どもにも健康的な食生活を送るための「マナーと学力・体力」の関わりが注目されています。このため、「食生活改善の取組が子どもたちにとっての食生活改善につながる」という観点から、食生活改善の取組の推進を目的として、今年7月に「心もからだもいきいきキャンペーン」をスタートさせました。食生活改善の取組でも、子どもたちの生活習慣を促す効果、改善すべき点があれば、できることから取り組んでませんか。

朝食と学力の関係

朝食の摂取状況と学力の関係

朝食の摂取状況	学力
朝食を摂る	85
朝食を摂らない	75

朝食と体力の関係(女子)

朝食の摂取状況と体力の関係(女子)

朝食の摂取状況	体力
朝食を摂る	85
朝食を摂らない	75

テレビ視聴時間と体力の関係(男子)

テレビ視聴時間と体力の関係(男子)

テレビ視聴時間	体力
1時間未満	85
1-2時間	75
2-3時間	65
3時間以上	55

社会的ルール・マナーと学力の関係

社会的ルール・マナーと学力の関係

社会的ルール・マナー	学力
マナーを身につけている	85
マナーを身につけていない	75

キャンペーンのロゴ入り牛乳パックが販売に登場

子どもたちの新たな発見の場・通学合宿

県教育委員会 教育課

通学合宿は、子どもたちが学校生活の中で学んだことを、家庭や地域で実践する機会を提供する貴重な機会です。今年度は、子どもたちが新たな発見の場として、通学合宿を実施しました。通学合宿では、子どもたちが学校生活の中で学んだことを、家庭や地域で実践する機会を提供する貴重な機会です。今年度は、子どもたちが新たな発見の場として、通学合宿を実施しました。



2006.8 心もからだもいきいき

心もからだもいきいきと

県教育委員会 教育課

心もからだもいきいきと、子どもたちの成長を応援します。心もからだもいきいきと、子どもたちの成長を応援します。心もからだもいきいきと、子どもたちの成長を応援します。



2006.8 心もからだもいきいき

心もからだもいきいきと、子どもたちの成長を応援します。心もからだもいきいきと、子どもたちの成長を応援します。心もからだもいきいきと、子どもたちの成長を応援します。

心もからだもいきいきと、子どもたちの成長を応援します。心もからだもいきいきと、子どもたちの成長を応援します。心もからだもいきいきと、子どもたちの成長を応援します。

新聞広告

今日からはじめませんか？ 子どもたちのために、私たち大人ができること

大切です！生活リズムや社会のルール・マナー

外で元気に遊ぼう

大人から率先して挨拶する

服装を整えよう

家族でそろって「いただきます」

しっかり朝食を食べよう

親子で一緒に本を読む
じっくり本を読もう

長時間テレビを見ることはやめよう
テレビ・ゲームは時間を決める

たっぷり寝よう
起きる時刻、寝る時刻を決める

心とからだのいきいき キャンペーン

食 読 遊 寝

「広げよう！草の根実践」取組発表会 兼 第4回推進会議

学校、PTA、地域などの団体や家庭で、子どもたちの生活習慣改善に向けて実践されている取り組みの発表会です。

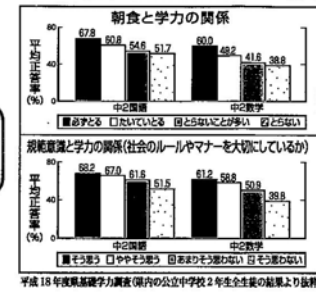
参加無料・申込不要 どなたでも参加できます

【開催日時】2月17日(日) 午後2時から4時30分
 【開催場所】倉吉交流プラザ2階 視聴覚ホール(倉吉市駄経寺町187-1)
 ※「倉吉未来中心」隣

【内容】○「優れた草の根実践」表彰式
 ○優秀実践事例の発表 ・日野町立黒坂小学校
 ・瀬小学校父母と先生の会
 ・鳥取市私立幼稚園PTA連合会

○第4回推進会議
 キャンペーンの展開に賛同している団体を中心に、意見交換などを行います。

問合せ先 鳥取県教育委員会事務局 教育総務課教育企画室 TEL 0857-26-7926 FAX 0857-26-8185 キャンペーンのホームページアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/kiikikyanpen/>



子どもたちの日々の生活習慣や規範意識が、学力や体力に対して大きな影響を及ぼすことがわかってきました。

そこで県教育委員会では、「心とからだ いきいき(食・読・遊・寝 キャンペーン)」を展開し、学校、家庭、地域と連携しながら、子どもたちの健全育成のためのさまざまな取り組みを行っています。

出前説明

PTA指導者研修会など、保護者・県民が集まる
機会を捉えて出前説明

◆平成18年度 12回

◆平成19年度 8回

(平成20年1月末現在)

実践事例の募集・表彰

- H17 我が家のイチ押し実践（対象：家庭）
- H18 優れた草の根実践
（対象：学校・地域・団体 等）
- H19 優れた草の根実践 ＋ 特別賞
（対象：家庭・学校・地域・団体 等）

支援隊

登録数 19 団体・個人 (H20.2.17現在)

NO.	名前	支援できる内容
1	大谷 恭一	・講演(食育、睡眠・生活リズム、大脳発達に係るテレビ・ゲーム等の影響、子育てに係る小児科医からの視点)
2	清水 成真	・講演(子育てについて)
3	ぐるぐるアート世話人会 (代表 松下 喜美子)	・実習、催しへの参加(ぐるぐるアート描き方指導)
4	H2Oカヌークラブ (代表 北本 頼隆)	・子どもと遊ぶ
5	NPO法人 八東の便利屋	・子どもと遊ぶ
6	澁谷 博子	・読み聞かせ活動 ・遊びの紹介 ・子どもと遊ぶ ・催しへの参加・手伝い など
7	遠藤 保人	・野外での自然観察会 ・講演
8	磯江 久子	・各種催しへの参加、手伝い など
9	石谷 暢男	・講演(食育、子育てなど)
10	西浦 公子	・講演(子育て、人間関係づくり) ・絵本の読み聞かせとパネルシアター
11	福本 幹久	・講演(食育、子育てなど)

NO.	名前	支援できる内容
12	中嶋 邦彦	・講演(教育全般/特に幼児教育、家庭教育) ・教育相談など
13	小田 亨	・講演(子育て、今どきの子ども事情) ・遊びの紹介(わらべうた、レクリエーション、野外活動など)
14	三朝 町立三朝中学校 (校長 中本 豊)	催しへの参加、手伝い
15	社会福祉法人晴天会 梅檀 保育園 (園長 西村 清彦)	催しへの参加、手伝い
16	井中 久美子	・読み聞かせ活動
17	わかさ読み聞かせグループ「もこもこ」 (代表 川戸 和代)	・読み聞かせ活動
18	今度 珠美	・講演(テレビとのつきあい方、無理しない楽しむ子育て など) ・表現ワークショップ(言葉、文章、演劇) ・子育てに関する催しのお手伝い、宣伝 など
19	健生企画(健康生きがいづくり) (代表 菊川 貴裕)	・講演(豊かな心を育てよう、50音ア・ラ・カルト、心とからだいきいきキャンペーン6つの柱プラス4「挨拶・感謝・友愛・継続」)



キャンペーン関連事業

- 高校生マナーアップさわやか運動
- 家庭教育推進協力企業制度
(認定企業115社 H20.2.17現在)
- 育ちと学びをつなぐ幼保小連携事業
など

合言葉は「さわやかなあいさつ さわやかな服装 さわやかなマナー」

高校生 マナーアップ さわやか運動



高校生の規範意識の育成と社会の一員としての自覚の高揚を図るため、JR主要駅や各学校校門付近等において年2回のあいさつ・呼びかけ運動を実施

米子工業高校生徒による 「列車乗車マナーアップ」作戦(1)



東山駅駐輪場周辺(清掃前)



JR西日本米子支社での打合せのようす

米子工業高校生徒による 「列車乗車マナーアップ」作戦(2)



当日の活動のようす

家庭教育推進協力企業制度(1)

今、なぜ家庭教育の充実に**企業の協力**が必要なのでしょう

企業のイメージアップ!

企業としての社会貢献

次代を担う子どもたちの健やかな成長

将来の企業を支える人材の育成

従業員の方々の家族間の好ましい関係

企業における業務能率に良い影響

従業員の方々が子育てしやすい職場環境づくり

学校行事や地域での活動、家庭教育への積極的な参加

<子どもたちや家庭教育の現状>

○国際比較調査において、日本のお父さんの家庭教育参加は極めて少ないとされています。

○子どもは親に「愛情をもって接して」「一緒に遊んで」と望んでいます。



家庭教育推進協力企業制度(2)

企業での取り組みの紹介

1. 学校へ行ってみよう

参観日などの学校行事に行きやすい職場環境づくりをすすめていく



←参観日の授業風景

3. 子どもと遊ぼう

親子で体験活動ができる職場行事の実施など



積水ハウス(株)鳥取支店の親子での地引網

2. 仕事を語ろう、仕事を見せよう

保護者の職場を子どもたちが見学する「子ども参観日」の実施など



鳥取電子(株)の子ども参観日

4. 我が社の子育て環境づくり

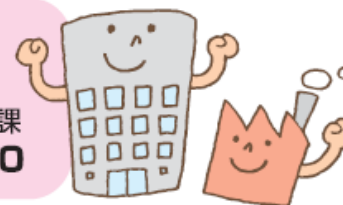
家庭教育講演会の実施、育児のための短時間勤務制度、子どもの看護休暇制度の導入など



(株)伝習館の家庭教育講演会

協力企業として
取り組んでみませんか?

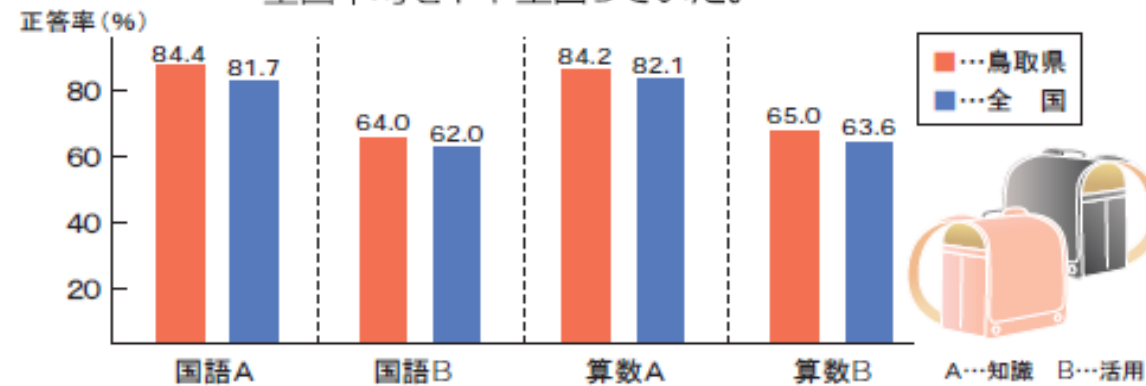
申込み
問合せ先 県教委家庭・地域教育課
0857-26-7520



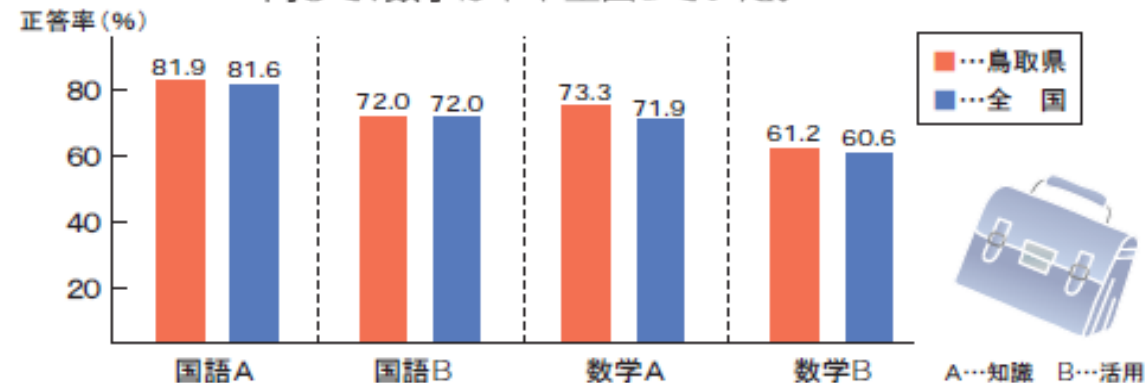
平成19年度全国学力・学習状況調査の結果 (1)

〈教 科〉

小学校6年生…国語、算数の調査結果(平均正答率)は、ともに全国平均をやや上回っていた。



中学校3年生…国語の調査結果(平均正答率)は、ほぼ全国平均と同じで、数学はやや上回っていた。



平成19年度全国学力・学習状況調査 の結果（2）

〈質問紙〉 ※全国平均との比較で差の大きかったもの

質問内容	全国平均との比較	
	小学校	中学校
「今住んでいる地域の行事に参加していますか」 「清掃活動（草取り、ごみ拾いなど）へ参加したことがありますか」	肯定的な回答 約15% 高い	肯定的な回答 5~6% 高い
「家の人と普段朝食を食べますか」	食べる 全国平均と ほぼ同じ	食べる 7.4% 高い
「家の人と普段夕食を食べますか」	食べる 全国平均と ほぼ同じ	食べる 5.4% 高い
「家で食事をするときは、テレビを見ないようにしていますか」	肯定的な回答 9% 高い	肯定的な回答 7.3% 高い
「学校の授業時間以外に、普段、1日どれくらいの時間勉強しますか」	「2時間以上」 7.6% 低い	「2時間以上」 9.3% 低い
「家で学校の授業の予習・復習をしていますか」	肯定的な回答 全国平均と ほぼ同じ	肯定的な回答 約8% 低い ※4割近い生徒は まったくしていない

育ちと学びをつなぐ幼保小連携事業(1)

- 幼保小連携推進協議会の開催
- 「育ちと学びをつなぐ幼保小連携フォーラム」の開催

【シンポジウム】

テーマ「育ちと学びをつなぐ幼保小連携のあり方」

コーディネーター：塩野谷 齊氏（鳥取大学地域学部助教授）

パネリスト：原田 知子氏（広島市立安東幼稚園長）

松島 真里子氏（広島市立安東小学校教諭）

岡本 敏明氏（琴浦町教育委員会指導主事）



シンポジウム

【講演】

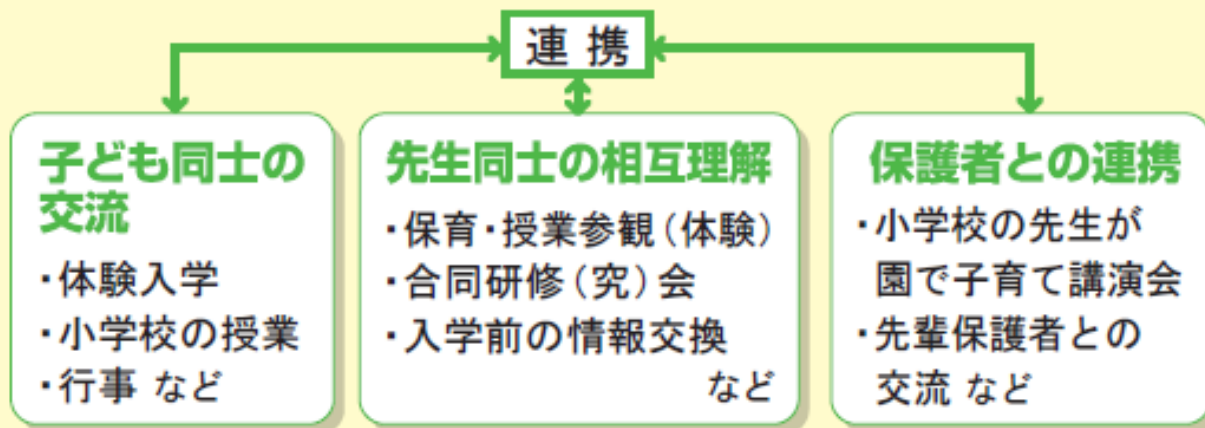
演題「学びの視点からとらえる幼保小の連携」

講師：奥山 登美子氏（京都ノートルダム女子大学教授）



育ちと学びをつなぐ幼保小連携事業(2)

幼稚園・保育所(園)と小学校の 連携の取り組みとして



連携をすすめる理由...

幼児・小学生→小学校入学への期待が高まります。
思いやりの気持ちが育ちます。

先生→お互いの教育の理解が深まります。
教育内容の充実につながります。

保護者→保護者同士のつながりが生まれます。
新1年生の保護者の不安が軽減されます。